

10款 教育費 1項 教育総務費

(単位:千円)

小学校35人学級体制整備事業(事務局総務費)						教務課
総 額	財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
3,737					3,737	
<p>【施策の目的】 確実な学習習慣、生活習慣の定着、基礎的・基本的な学力の定着及び一人ひとりに応じた教育を充実するため、市独自の教員を配置し35人学級に取り組む。</p> <p>【施策の実施】 小学校2年生において取組み、三小小学校に1名配置した。</p> <p>【施策額の内訳】 少人数指導体制整備特別教員（1名） 3,737,176円</p> <p>【施策の効果】 35人学級を編成したことで、各学級における児童一人ひとりの学習や生活習慣の定着により細やかな対応ができた。</p>						
外国語指導助手配置事業(事務局総務費)						教務課
総 額	財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
12,917					12,917	
<p>【施策の目的】 国際化が進展する中で、児童、生徒が他国の言語や文化に対する理解を深めるとともに、コミュニケーション能力を養うため、ALTを小・中学校へ配置し、英語活動等の授業補助を行う。</p> <p>【施策の実施】 民間ALT4名により市内小・中学校の授業補助を実施した。</p> <p>【施策額の内訳】 委託料 12,917千円</p> <p>【施策の効果】 ALTを配置することにより、児童・生徒の他国理解を深めるとともに、コミュニケーション能力の向上に資することができた。</p>						
教育相談事業(教育相談推進費)						教務課
総 額	財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
4,463					4,463	
<p>【施策の目的】 児童、生徒の不登校をはじめとする相談に対応するため、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを配置する。</p> <p>【施策の実施】 ・スクールカウンセラー 小郡市教育センターに配置し、必要に応じて学校へ派遣 ・スクールソーシャルワーカー 全小・中学校を2グループに分け、各担当校の要請に応じて対応</p> <p>【施策額の内訳】 ・スクールカウンセラー 774千円 ・スクールソーシャルワーカー 3,689千円</p> <p>【施策の効果】 スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの配置により、教育相談等に対し、丁寧な対応ができた。</p>						

コミュニティ・スクール調査研究事業

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
649	381				268

【施策の目的】

学校・家庭・地域が一体となり、協働して学校づくりを行う学校運営協議会について、組織・運営体制づくり及び具体的な取組の企画・推進・評価の調査研究を行う。

【施策の実施】

のぞみが丘小学校、三国小学校、三国中学校をコミュニティ・スクールとして指定し、学校・家庭・地域から委員を選出し、学校運営協議会を組織した。会議を行い、協議会の運営体制づくりや、学校運営における学校・家庭・地域それぞれの役割について共通理解を図った。

【施策額の内訳】

(単位:千円)

項目	金額
報酬	384
旅費	16
消耗品費	112
印刷製本費	137
合計	649

【施策の効果】

- ① のぞみが丘小学校における学校運営協議会制度の充実・改善に関する実践研究の中で事務職員と教員の役割を明確にし、学校支援ボランティアへの連絡調整の窓口を一本化したことで、充実した支援体制を構築することができた。また、担任が子どもと向き合う時間の確保ができ、子どもの学力向上につなげることができた。
- ② 三国小学校における学校運営協議会制度の導入について、組織作りと運営体制の構築を行い、学校・家庭・地域が協働して取り組むことを、年間を通して協議していくことができ、協働の取組として「通学路安全マップづくり」を行うことができた。また、広報資料として「三国小学校安全安心7つの約束」を全戸配布することができた。
- ③ 三国中学校における学校運営協議会制度の導入について、学校運営協議会制度の理解が進むとともに、学校運営協議会の実働部隊として「学校サポートコミュニティ」を組織し、「安全・安心コミュニティ」「学び場・語り場コミュニティ」「郷土愛コミュニティ」「体験コミュニティ」の4部会を設置するなど、コミュニティ・スクールの方向性が明確になった。

学び場支援事業

人権・同和教育課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
11,462					11,462

【施策の目的】

いきいきとした子どもたちの姿を大切にし、子どもたちが将来の進路保障につながる「生きる」力として、基礎学力と自学自習の力を身につけることを目的とする。

【施策の実施】

参加者〈前・後期〉 小郡小113名・御原小107名・味坂小71名・大原小36名
 東野小31名・立石小40名・三国小23名・のぞみが丘小81名・小郡中77名
 宝城中72名・大原中114名・立石中84名・三国中120名 合計 969名

開催日 小学校(BBクラブ)週2回
 中学校(チューター)学校により学校内にて週1~2回・考査前・長期休業中
 市内施設において土曜チューター

指導者 教職員17名・小学校(サポーター80名、コーディネーター9名)
 中学校チューター58名

【施策額の内訳】

内訳	金額(千円)	備考
協力者謝金	10,495	800円×8,335h、1,000円×3,827h
消耗品	732	テキスト、用紙、インク等
役務費	136	事務局電話料、損害保険料
備品購入費	99	パソコン
計	11,462	

【施策の効果】

参加した児童生徒のアンケートでは「学年が違う友達とも仲良くなれて、宿題が前より早くできるようになった。」
「大人になって、BBクラブがあれば、ボランティアで勉強を教えに行きたい」等の声も聞かれるなど、一定の成果につながっている。

啓発冊子作成事業

人権・同和教育課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
632		316			316

【施策の目的】

人権問題に関する啓発冊子を作成、閲覧することで、人権尊重の理念を普及し、理解を深めることを目的とする。

【施策の実施】

- ・啓発冊子「差別をなくすために」第38集(24,000部)を作成し、各家庭に配布
- ・「人権作文・標語・ポスター集」(700部)を作成
人権週間にちなんで、各保育園(所)、幼稚園、小中学校などから募集した作品を学校や地域での教材として活用

【施策額の内訳】

内訳	金額(千円)	備考
印刷製本費	632	差別をなくすために481千円 人権作文・標語・ポスター集151千円
計	632	

【施策の効果】

啓発冊子は、全世帯に配布し啓発を行っている。人権作文・標語・ポスター集については、学校や地域での研修会等で活用し、成果をあげている。

同和問題市民講演会開催事業

人権・同和教育課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
549		142			407

【施策の目的】

市民を対象に講演会を開催し、同和問題をはじめとするあらゆる差別を解消することを目的とする。

【施策の実施】

開催日 平成26年7月12日(土)
講 師 中西和久さん(俳優)
演 題 「記憶の中の風景 私の出会った物語たち」～部落の語り伝え「火の玉のはなし」～
参加者数 406名

【施策額の内訳】

内訳	金額(千円)	備考
委託料	453	講師派遣委託料
協力者謝金	32	手話、要約筆記
需用費	64	ポスター・チラシ印刷
計	549	

【施策の効果】

単なる講演ではなく、「火の玉のはなし」の朗読をはじめ、説教節「山椒大夫考」の一説を演じていただいた。被差別部落と芸能との関係や、ご自身の芸人としてのルーツについて祖父の代にさかのぼってお話いただくとともに、芸能にかける思いを熱く語っていただき、部落差別について考えるきっかけとなった。

七夕人権考座開催事業

人権・同和教育課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
320		103			217

【施策の目的】

同和問題をはじめ「小郡市人権教育・啓発基本計画」にうたわれている7つの分野(同和問題・男女共同参画・子ども・高齢者・障害者・外国人・様々な差別など)の講座を開催し、人権問題の解消を図ることを目的とする。

【施策の実施】

開催年月日	内容	参加者数
①平成26年6月13日	「市民の目から見た人権問題」	94名
②平成26年7月15日	「高齢者が安心して暮らせる社会の実現に向けて」	72名
③平成26年8月19日	「社会とつながる」(障がい者の人権)	49名
④平成26年9月20日	「指導者に求められるスポーツ活動と人権」	98名 (スポーツ振興課共催)
⑤平成26年10月7日	「子どもの人権～いじめ問題を中心に～」	72名 (教務課共催)
⑥平成26年11月26日	「もしかしてDV?～私たちにできることを考える～」	57名 (企画課共催)
⑦平成27年1月20日	「多文化共生のまちづくり」(外国人の人権)	36名
⑧平成27年2月20日	「共有・共感を求めて」(同和問題)	40名

【施策額の内訳】

内訳	金額(千円)	備考
講師謝金	200	
協力者謝金	42	手話奉仕員
需用費	78	消耗品費・食糧費
計	320	

【施策の効果】

平成26年度は、8回開催し合計518名の参加があり、あらゆる人権問題の解消を図るための市民啓発の広がりにつながっている。

保護者啓発事業

人権・同和教育課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
146		73			73

【施策の目的】

各幼稚園・小中学校の保護者に対する啓発を行い、同和問題をはじめとする様々な人権問題の解消を図ることを目的とする。

【施策の実施】

平成26年度は、各幼稚園・小中学校において20回の人権・同和問題の保護者啓発が行われた。

【施策額の内訳】

講師謝金 146千円

【施策の効果】

同和問題や子どもの人権など様々な人権問題を講演等を行い、保護者への啓発につながった。

人権のまちづくり事業

人権・同和教育課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
295		81			214

【施策の目的】

各中学校区を単位として人権のまちづくり組織を立ち上げ、活動を展開し、人権が尊重される地域社会を実現することを目的とする。

【施策の実施】

各中学校区単位で、研修会、フォーラム、フェスタなどのイベントの開催、たよりの発行等、地域に合った取り組みが実施されている。

【施策額の内訳】

内訳	金額(千円)	備考
講師謝金	117	
需用費	178	消耗品109千円、印刷製本費49千円 食糧費20千円
計	295	

【施策の効果】

地域の中学校区を核にして、地域の様々な団体等が連携することにより、幅の広い人権課題の解決の一役を担っている。

10款 教育費 2項 小学校費

(単位:千円)

児童通学費補助事業(小学校一般管理費)

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
659					659

【施策の目的】

遠距離通学児童に対して、交通費の補助を行う。

【施策の実施】

西鉄電車 通学定期1区間分の補助 11か月分
 小郡小 対象者 4人 今朝丸地区(1年生～6年生)
 三国小 対象者 51人 津古区、みくにの団地区、三国が丘1区(1年生～3年生)

【施策額の内訳】

	対象人数	補助額
小郡小	4人	56千円
三国小	51人	603千円

【施策の効果】

遠距離通学児童の負担を軽減することができた。

理科教育等設備備品整備事業・小学校(教育振興総務費)

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,004	500				504

【施策の目的】

小学校の理科教育等設備の整備を計画的に推進する国庫補助事業。(国庫補助 1/2)
 理科教育を通し科学的な知識、技能及び態度を習得させるための設備備品を整備する。
 年次的に整備し、平成26年度は2校の整備を行った。

【施策の実施】

・小郡小・・・てこのはたらき体験セット他 ・御原小・・・顕微鏡他

【施策額の内訳】

理科教育等設備備品整備事業
 ・小郡小 497,124円 ・御原小 507,168円

【施策の効果】

理科教育における設備等を整備したことで、より充実した学習体制を整えることができた。

市教育委員会研究指定委嘱校補助・小学校(教育振興総務費)

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
800					800

【施策の目的】

研究指定校
 (1)東野小 H25～H26 (2)小郡小 H26～H27

【施策の実施】

(1) 東野小

研究主題「確かな言語力の育成をめざす学習指導法の研究」
～言語活動の充実を通して～

(2) 小郡小

研究主題「自分の考えを伝え、高め合う国語科学習指導」
～確かな読みをつくる表現活動の工夫を通して～

【施策額の内訳】

(1) 東野小 550千円

(2) 小郡小 250千円

【施策の効果】

各学校の課題について研究を行い、児童への学習指導方法の向上を図ることができた。

情報教育設備・機器整備事業・小学校(コンピュータ教育費)

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
15,318					15,318

【施策の目的】

授業及び校務において児童、教員がコンピュータやインターネットを活用できる環境を整備する。

【施策の実施】

パソコン教室、職員室、事務室等のパソコン機器の整備を行う。

【施策額の内訳】

児童用及び教職員用学校コンピュータリース料(12月) 13,004千円
教職員用パソコン運用等委託料 664千円
通信運搬費 1,650千円

【施策の効果】

平成26年度は機器の更新は無かったが、授業及び校務において児童、教員がコンピュータやインターネットを活用できる環境を管理した。

特別支援教育就学奨励費・小学校(特別支援教育費)

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,153	615				538

【施策の目的】

小学校の特別支援学級への就学事情に鑑み、その就学に係る保護者等の経済的負担を軽減する。
国庫補助事業

【施策の実施】

小学校対象児童数 41人

【施策額の内訳】

特別支援教育就学奨励費 1,153千円

【施策の効果】

特別支援学級に在籍する児童を抱える保護者の就学に係る経済的負担を軽減することができた。

就学援助・小学校(就学援助費)

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
32,031					32,031

【施策の目的】

経済的理由によって就学困難な児童に対し、必要な援助を与え義務教育の円滑な実施を図ることを目的とする。

【施策の実施】

小学校対象児童数 520人

【施策額の内訳】

入学準備	1,453千円	医療費	696千円
学用品費	7,452千円	修学旅行費	1,379千円
給食費	21,020千円	校外活動費	31千円
		合 計	32,031千円

【施策の効果】

経済的理由により就学困難な児童に対して、必要な援助をすることで、就学に係る経済的な負担を軽減することができた。

小郡小学校改修事業

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,880				2,000	880

【施策の目的】

グラウンド使用時のボール等による児童のけが防止また、校舎への被害防止のため防球ネットを改修するもの。

【施策の実施】

メッシュフェンス(H=4.0m)設置 L=39.9m
既設フェンス(H=3.0m)撤去 L=38.4m

【施策の内訳】

工事費 2,880千円

【施策の効果】

防球ネット改修工事を行った事で、ボール等による校舎への被害の減少及び児童の安全を確保することができた。

御原小学校改修事業

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,743				1,500	243

【施策の目的】

グラウンドからの児童の飛び出し防止のためフェンスを設置する。

【施策の実施】

メッシュフェンス(H=1.2m)設置 L=48.6m、メッシュフェンス(H=1.5m)設置 L=29.5m
両開き門扉(H=1.8m,W=2.0m)設置 1.0ヶ所

【施策の内訳】

工事費 1,743千円

【施策の効果】

フェンス設置を行った事で、グラウンドから児が飛び出す危険性も無くなり、児童の安全を確保する事ができた。

三国小学校改修事業

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,192				1,500	692

【施策の目的】

プール内での熱中症等の事故防止のため、日よけを設置する。

【施策の実施】

プール日よけ(L=15.26m W=2.6m)設置 1箇所

【施策の内訳】

工事費 2,192千円

【施策の効果】

日よけの設置により熱中症等の予防対策が完了し、安全で快適なプール環境を確保することができた。

東野小学校改修事業					教務課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
6,089				6,000	89
【施策の目的】 教室棟屋上防水の老朽化に伴う雨漏りの改善のため、防水改修工事を行うもの。					
【施策の実施】 教室棟改質アスファルト防水改修 A=479.2㎡ ウレタン塗膜防水 A=139.4㎡					
【施策の内訳】 工事費 6,089千円					
【施策の効果】 改修により雨漏りの被害が無くなり安全で快適な教育環境の確保ができた。また施設の延命化も達成できた。					
三国小学校校舎改築事業					教務課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,566					2,566
【施策の目的】 住宅開発に伴う児童数増加や特別支援学級の増加等による普通教室不足を解消する為に、老朽化している既存教材庫を解体し、普通教室2教室の建設を実施することにより教育環境の向上を図る。					
【施策の実施】 校舎改築に伴う実施設計及び工事監理					
【施策の内訳】 設計費 2,566千円					
【施策の効果】 既存プレハブ校舎解体及び校舎建設工事に伴う実施設計を行い、平成27年度工事に向けての準備が完了した。					
大原小学校大規模改造事業					教務課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
6,458					6,458
【施策の目的】 老朽化し使いづらくなった管理特別教室棟校舎の内外装、設備等を2ヵ年で一体的に整備することにより、教育環境の改善を行う。					
【施策の実施】 管理特別教室棟大規模改造工事に伴う実施設計					
【施策の内訳】 設計費 6,458千円					
【施策の効果】 管理特別教室棟校舎の大規模改造工事に伴う実施設計を行い、平成27年度工事に向けての準備が完了した。					
小郡小学校大規模改造事業					教務課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
181,995	35,453		140,600		5,942
【施策の目的】 老朽化し使いづらくなった校舎の内外装、設備、トイレ等を一体的に整備することにより、教育環境の改善を行う。					

【施策の実施】

教室棟1～3階内外装全面改修(床・天井等改修、外壁改修、屋上防水改修等)
教室棟1～3階トイレ改修

【施策の内訳】

工事費 179,441千円 備品購入費 410千円
監理費 1,955千円 消耗品費 189千円

【施策の効果】

大規模改造工事により、内装の木質化、トイレの洋式化、バリアフリー化を図ることができ安全で快適な教育環境を確保することができた。また、施設の延命化も達成できた。

小学校遊具改修事業

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,120					2,120

【施策の目的】

味坂小、御原小、立石小の老朽化している登り棒の取替を行うもの。

【施策の実施】

味坂小・御原小・立石小既設登り棒(20人用)撤去 3基
登り棒(16人用×1基、20人用×2基) 新設

【施策の内訳】

工事費 2,120千円

【施策の効果】

遊具の改修工事を行うことにより、児童の安全性を確保することが出来た。

小学校空調設置事業

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
222,553	59,515		119,800		43,238

【施策の目的】

近年の夏季の気温上昇により、児童の体調及び授業環境への影響が起きているため、各小学校の普通教室及び特別支援学級及び図書室へ空調設備を設置することにより、児童の教育環境の向上を図る。

【施策の実施】

市内小学校8校普通教室及び特別支援学級、図書室空調設備設置 全130教室

【施策の内訳】

工事費 201,020千円 設計・監理費 21,533千円

【施策の効果】

空調設置工事を実施したことにより、児童の快適な教育環境を確保することが出来た。

小学校焼却炉撤去事業

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,047					2,047

【施策の目的】

使用しなくなった老朽化した焼却炉の撤去を行うもの。

【施策の実施】

三国小学校小型焼却炉撤去 1基

【施策の内訳】

工事費 1,594千円 設計費 453千円

【施策の効果】

焼却炉を撤去したことにより、安心して安全な教育環境を確保することができた。

10款 教育費 3項 中学校費

(単位:千円)

理科教育等設備備品整備事業・中学校(教育振興総務費)						教務課
総 額	財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
1,200	600				600	
<p>【施策の目的】 中学校の理科教育等設備の整備を計画的に推進する国庫補助事業。(国庫補助 1/2) 理科教育を通し科学的な知識、技能及び態度を習得させるための設備備品を整備する。 年次的に整備し、平成26年度については2校の整備を行った。</p> <p>【施策の実施】 ・小郡中・・・電源装置他 ・大原中・・・電子てんびん他</p> <p>【施策額の内訳】 理科教育等設備備品整備事業 ・小郡中 600,060円 ・大原中 599,940円</p> <p>【施策の効果】 理科教育における設備等を整備したことで、より充実した学習体制を整えることができた。</p>						
市教育委員会研究指定委嘱校補助・中学校(教育振興総務費)						教務課
総 額	財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
550					550	
<p>【施策の目的】 研究指定校 立石中 H25～H26</p> <p>【施策の実施】 立石中 研究主題「小中連携による子どもの自尊感情の育成」 ～立石元気っ子プランに基づいた小中連携を通して～</p> <p>【施策額の内訳】 立石中 550千円</p> <p>【施策の効果】 各学校の課題について研究を行い、生徒への学習指導方法の向上を図ることができた。</p>						
各種大会出場補助金・中学校(教育振興総務費)						教務課
総 額	財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
5,500					5,500	
<p>【施策の目的】 中学校における体育・文化の振興と中学校生徒の健全な精神と身体の育成を図る。</p> <p>【施策の実施】 小郡市・三井郡以外の地域で開催される市郡大会や地区大会以上の体育・文化の各種大会出場補助金。 大会の出場登録人数と引率者の交通費等を補助する。</p> <p>【施策額の内訳】 (1)地区大会 1,702千円 (4)全国大会 0千円 (2)県大会 847千円 (5)市郡大会(うきは市開催分) 1,400千円 (3)九州大会 244千円 (6)文化部大会 1,307千円</p> <p>【施策の効果】 中学校における部活動の各種大会の交通費等を補助することで、部活動への意欲的な参加を促進するとともに、心身の育成を図ることができた。</p>						

情報教育設備・機器整備事業・中学校(コンピュータ教育費)					教務課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
9,741					9,741
【施策の目的】 授業及び校務において生徒、教員がコンピュータやインターネットを活用できる環境を整備する。					
【施策の実施】 パソコン教室、職員室、事務室等のパソコン機器の整備を行う。					
【施策額の内訳】					
生徒用及び教職員用学校コンピュータリース料(12月)	8,271千円				
システム設定等委託料	433千円				
通信運搬費	1,037千円				
【施策の効果】 平成26年度は機器の更新は無かったが、授業及び校務において児童、教員がコンピュータやインターネットを活用できる環境を管理した。					
特別支援教育就学奨励費・中学校(特別支援教育費)					教務課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
707	226				481
【施策の目的】 中学校の特別支援学級への就学事情に鑑み、その就学に係る保護者等の経済的負担を軽減する。 国庫補助事業					
【施策の実施】 中学校対象生徒数 14人					
【施策額の内訳】 特別支援教育就学奨励費 707千円					
【施策の効果】 特別支援学級に在籍する生徒を抱える保護者の就学に係る経済的負担を軽減することができた。					
就学援助・中学校(就学援助費)					教務課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
31,490					31,490
【施策の目的】 経済的理由によって就学困難な生徒に対し、必要な援助を与え義務教育の円滑な実施を図ることを目的とする。					
【施策の実施】 中学校対象生徒数 324人					
【施策額の内訳】					
入学準備品	2,379千円		医療費等	265千円	
学用品費	8,112千円		修学旅行費	5,510千円	
給食費	15,117千円		校外活動費	107千円	
			合 計	31,490千円	
【施策の効果】 経済的理由により就学困難な生徒に対して、必要な援助をすることで、就学に係る経済的な負担を軽減することができた。					

宝城中学校改修事業						教務課
総額	財源内訳					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
15,783				13,500	2,283	
【施策の目的】 プールの劣化したシートの膨れによる授業への支障の軽減及び猛暑によるプールサイド床面の温度上昇による生徒の怪我を防止し、安全性と教育環境を向上させる。また、老朽化している消火管を改修し、緊急時の円滑な対応及び生徒の安全を確保する。						
【施策の実施】 プール塗装 A=586㎡ プールサイド遮熱塗装 A=322㎡ 消火管改修 L=84.9m						
【施策の内訳】 工事費 プール改修工事 13,893千円 消火管改修工事 1,890千円						
【施策の効果】 プール改修を行った事で、プールのシートの膨れによる授業への支障及びプールサイド床面の温度上昇による怪我が無くなり、プール施設の延命化も達成できた。また、消火管改修工事を行ったことにより、緊急時の円滑な対応が可能となり生徒の安全を確保することができ、設備の延命化も達成できた。						
小郡中学校大規模改造事業						教務課
総額	財源内訳					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
2,750					2,750	
【施策の目的】 トイレの老朽化に伴う漏水及び衛生器具設備不良の改善のため、トイレ大規模改造工事を行い教育環境の向上を図る。						
【施策の実施】 トイレ大規模改造工事に伴う実施設計						
【施策の内訳】 設計費 2,750千円						
【施策の効果】 トイレの大規模改造工事に伴う実施設計を行い、平成27年度以降の工事に向けて準備が完了した。						
中学校空調設置事業						教務課
総額	財源内訳					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
6,500					6,500	
【施策の目的】 近年の夏季の気温上昇により、生徒の体調及び授業環境への影響が起きているため、各小学校の普通教室及び特別支援学級及び図書室へ空調設備を設置することにより、生徒の教育環境の向上を図る。						
【施策の実施】 中学校空調設置工事に伴う実施設計						
【施策の内訳】 設計費 6,500千円						
【施策の効果】 空調設置工事に伴う実施設計を行い、平成27年度以降の工事に向けて準備が完了した。						
中学校焼却炉撤去事業						教務課
総額	財源内訳					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
2,125					2,125	
【施策の目的】 使用しなくなった老朽化した焼却炉の撤去を行うもの。						

【施策の実施】

小郡中学校小型焼却炉撤去 1基

【施策の内訳】

工事費 1,671千円 設計費 454千円

【施策の効果】

焼却炉を撤去したことにより、安心して安全な教育環境を確保することができた。

10款 教育費 5項 幼稚園費

(単位:千円)

私立幼稚園就園奨励事業(私立幼稚園費)

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
80,654	19,902				60,752

【施策の目的】

授業料等の経済的負担が大きい家庭等を対象に、国の制度に則り補助金を交付し就園奨励を行う。
(国庫補助事業)

【施策の実施】

市民税の税額や子どもの人数等に応じて6段階に区分し補助
<対象人数> 私立幼稚園 596人

【施策額の内訳】

私立幼稚園就園奨励費補助金 80,654千円

【施策の効果】

幼稚園に就園している子どもを持つ家庭に対して、所得状況や子どもの人数等に応じ補助を行うことで、経済的負担を軽減することができた。

小郡幼稚園改修事業

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,577				500	1,077

【施策の目的】

当初は汚水は浄化槽処理だったが、近年学校施設の下水道接続が普及したことにより、小郡幼稚園も同様に下水道接続工事を実施する。

【施策の実施】

下水道接続φ150 L=15.3m
既設合併浄化槽処理及び清掃等 1式

【施策の内訳】

工事費 1,080千円
委託費 497千円

【施策の効果】

下水道に切り替えたことにより幼稚園利用者の快適な施設利用に貢献することができた。

三国幼稚園改修事業

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,558					2,558

【施策の目的】

老朽化している遊具を撤去・新設することにより、園児の安全の確保及び怪我の防止を図る。
また、使用しなくなった老朽化した焼却炉の撤去を行うもの。

【施策の実施】

既設木造遊具撤去及び木造遊具新設 1基
小型焼却炉撤去 1基

【施策の内訳】

遊具改修工事	工事費	702千円		
焼却炉撤去工事	工事費	1,402千円	設計費	454千円

【施策の効果】

遊具改修工事を実施したことにより、園児の安全及び怪我の防止が達成できた。また、焼却炉を撤去したことにより、安心して安全な教育環境を確保することができた。

10款 教育費 6項 社会教育費

(単位:千円)

地域活動指導員設置事業(社会教育総務費)

生涯学習課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,700		6,806			1,894

【施策の目的】

県の補助事業により地域活動指導員を配置して、地域の人権啓発活動の支援や、子どもたちの放課後や休日の遊び場・学び場の運営支援を行う。

【施策の実施】

人権のまちづくり(小郡、御原、味坂、大原、東野)、アンビシャス広場、学び場支援及び社会教育団体等の人権啓発業務に5人地域活動指導員を配置し、地域活動のコーディネーター的役割を担っている。

【施策額の内訳】

指導員報酬 8,700 千円

【施策の効果】

人権啓発活動、アンビシャス広場運営、学び場等のサポートを行い、“まちづくり”の支援を行う地域に密着した活動員としての役割を担うことができた。

社会教育関連講座開設事業(各教育事業)

生涯学習課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,255				1,895	1,360

【施策の目的】

個人のニーズや地域の課題に対応するため、市民に多様な学習の場を提供することにより、自主的な活動を推進し、かつ、人間形成の向上を図るもの。

【施策の実施及び施策額の内訳】

内 訳	報償費 (単位:円)	講座等回数(延べ) (単位:回)	参加者数(延べ) (単位:人)
家庭教育事業	968,900	77	615
成人教育事業	905,000	117	142
女性・青少年教育事業	920,700	41	415
高齢者等はつらつ教育事業	460,100	143	419
合 計	3,254,700	378	1,591

【施策の効果】

それぞれの対象に向け、様々な講座・研修会等を開設し、情報提供することができた。
また、社会参加の活動が増えることにより、地域住民相互の交流の場ともなっている。

成人式開催事業

生涯学習課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
735					735

【施策の目的】

これからの社会を担う新成人を祝福し、活力ある社会の創造に寄与する目的で事業を実施する。

【施策の実施】

- ・ 9月から新成人による実行委員会(企画運営会議7回)を組織して、全体式典と校区别交流会の企画・運営を行った。
- ・ 平成27年1月11日(日)に開催し、570人の新成人が参加した。

【施策額の内訳】

内 訳	金額(円)
託児・支援者謝金	52,500
記念品、記念写真代	506,787
消耗品費	45,440
食糧費	111,619
委託料(駐車場整理)	19,008
合 計	735,354

【施策の効果】

卒業した中学校の当時の生徒会役員等が実行委員に当たること、新成人の手による“成人式”を作り上げることができている。対象者は毎年新しくなるが、本方式が後輩に受け継がれており、今後も成人式の企画・運営についてはこの方法を継続していく。

新アンビシャス広場づくり事業

生涯学習課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,100		732			368

【施策の目的】

放課後や休日に、子どもたちが地域の中で有意義に過ごせる“居場所”として開設されている。小中学校や校区公民館、地域の自治公民館を利用して、子どもたちが年齢の異なる人と交流を深め、相互ふれあいの中で、創造性や自主性、社会性を身につける諸活動を行う。

【施策の実施】

○いきいきアンビシャス広場の開設

・広場開設場所：小郡交流センター、小郡小学校、小郡中学校、のぞみがおか生楽館、味坂小学校、大原小学校、東野小学校、御原小学校

・参加子ども：述べ14,362人、参加推進員・ボランティア：述べ2,510人

【施策額の内訳】

施策総額 1,100 千円
 新アンビシャス広場づくり事業補助金 一般財源1/3、県費2/3(国庫から県へ1/3補助)

【施策の効果】

- ・学年を越えた子どもどうして遊びや体験活動を行うため、お互いを思いやる仲間の輪が広がっており、ボランティアスタッフとも良い信頼関係が作られている。
- ・地域(地元出身)の大学生や社会人が学習サポートを行ってくれており、自学自習の相談相手としての交流の場ともなっている。
- ・地域のお祭りやイベント等に参加したり、広場での魅力ある行事を企画して、地域の人々や伝統文化に触れる機会が作られている。

公民館関連補助金(公民館管理費)

生涯学習課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,478					8,478

【施策の目的】

地域住民のもっとも身近なコミュニティ活動の場である自治公民館に対し助成することにより、地域の生活文化の振興と社会福祉の増進を図る。

【施策の実施及び施策額の内訳】

○自治公民館連絡協議会への補助金交付 5,392 千円

○モデル自治公民館委嘱事業に伴う補助金 (単位:円)

内 訳	金 額
味坂校区自治公民館館長会	48,000
東野校区自治公民館連絡協議会	48,000
合計	96,000

○自治公民館建設(改修)事業への補助金

(単位:円)

内 訳	金 額	備 考
大板井1区公民館	800,000	屋根改修工事
馬渡公民館	179,415	トイレ改修工事
吹上区公民館	655,934	屋根改修工事
稲吉公民館	417,300	トイレ改修工事
開2区公民館	154,150	玄関・和室改修工事
立石区公民館	257,799	天井・壁張替工事
八坂公民館	366,703	トイレ改修工事
司家公民館	158,700	トイレ改修工事
合計	2,990,001	

【施策の効果】

公民館長研修会の充実及び活動内容の幅が広がった。その結果、研修会に参加した館長の公民館活動への意欲が向上した。また、老朽化した公民館を改修することで公民館の利便性を強化した。

社会教育関連講座開設事業(各校区公民館管理費)

生涯学習課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
504					504

【施策の目的】

社会教育事業推進のため、校区公民館の講座・教室を開設する。

【施策の実施及び施策額の内訳】

内 訳	報償費 (単位:円)	講座等回数(延べ) (単位:回)	参加者数(延べ) (単位:人)
味坂校区公民館	45,000	36	531
御原校区公民館	90,300	76	897
立石校区公民館	87,200	49	857
三国校区公民館	57,400	44	638
のぞみがおか生楽館	82,100	67	1,431
小郡交流センター	70,000	47	810
東野校区公民館	72,400	82	1,315
合計	504,400	401	6,479

【施策の効果】

市民の学習意欲の向上及び高齢者の生きがいつくりの場となっている。
また、講座を通して様々な人が交流することでコミュニティ形成の場にもなっている。

三国校区公民館駐車場拡張事業(三国校区公民館管理費)

生涯学習課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
746					746

【施策の目的】

三国校区公民館は公民館機能のほかに、サービスセンター業務(証明書発行)も兼ねており、年間約4万人の来館者があるが、駐車場は30台分しかなく、十分な広さとはいえず、利用者の利便性向上の為、駐車場を拡張するものである。

【施策の実施】

- 用地測量
- 不動産鑑定

【施策額の内訳】

(単位:円)

内 訳	金 額	備 考
測量業務委託	335,988	駐車場拡張予定地の用地測量
不動産鑑定業務委託	410,400	駐車場拡張予定地の不動産鑑定
合計	746,388	

【施策の効果】

用地の面積及び㎡あたりの単価について確認できた。

のぞみがおか生楽館改修工事(のぞみがおか生楽館管理費)

生涯学習課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,739					2,739

【施策の目的】

小学校内に設置された校区公民館であり、クラブハウス以外は学校施設を使用しているため会議室が不足している。このため、利用者の利便性向上のため、会議室としても共用できるように、H25年度に引き続き、プレハブ教室1室を改修するものである。

【施策の実施】

- のぞみがおか小学校南側校舎西側棟プレハブ教室1室改修
- 会議室用備品購入(机・イス)

【施策額の内訳】

(単位:円)

内 訳	金 額	備 考
プレハブ教室改修工事	1,954,800	天井新設、電気設備関連工事、空調関連工事
会議室用備品購入	784,080	会議室用として机・イス等の備品購入
合 計	2,738,880	

【施策の効果】

会議室の増加により、利用者の利便性が向上した。

大原校区公民館建設事業

生涯学習課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
6,077					6,077

【施策の目的】

校区公民館を拠点とし、地域住民の連帯感を高め、住みよい地域社会づくりの推進に資するため、地域に密着したコミュニティ活動の中心施設として校区公民館を機能させていく必要があるため、市内に唯一校区公民館を設置していない大原校区に校区公民館を建設する。

【施策の実施】

- 校区公民館の基本設計、地質調査
- 用地の測量
- 隣接民有地の不動産鑑定

【施策額の内訳】

(単位:円)

内 訳	金 額	備 考
設計委託料	3,780,000	基本設計、地質調査
測量業務委託料	2,102,436	建設用地測量、隣接民有地測量
不動産鑑定業務委託料	194,400	隣接民有地不動産鑑定
合 計	6,076,836	

【施策の効果】

建設委員会を開催し、校区公民館の設計について基本的な部分を決定することができた。また、建設用地及び民有地の面積確認、民有地の㎡あたりの単価の確認がなされた。

文化関連補助金(文化振興費)

生涯学習課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,450				500	7,950

【施策の目的】

地域における各文化関係団体等の自主的活動の促進を支援し、地域社会の文化活動向上を図るための助成を行う。

【施策の実施】

各文化団体とも活動の活性化を図るため公演・展示活動の充実を図った。

6/14	東京大衆歌謡劇団コンサート	文化会館大ホール	入場者数	375人
7/26	劇団飛行船「桃太郎」	文化会館大ホール	入場者数	328人

8/10	真知亜@nakama.	文化会館大ホール	入場者数	318人
9/27	泉谷しげるアコースティックティックライブ	文化会館大ホール	入場者数	572人
10/19	「音楽のある時間Ⅱ～躍動～」 (第22回ふくおか県民文化祭2014北筑後ブロック地域別事業)	文化会館大ホール	入場者数	600人
11/8 ～9	第25回市民文化祭 (出演者 723人 展示数 325点)	小郡市文化会館 生涯学習センター	入場者数	2,245人
12/21	小郡音楽祭ミュージカルカンパニー設立記念「ベスト・オブ・ミュージカル」	文化会館大ホール	入場者数	500人
1/24・25	小郡名画座	文化会館大ホール	入場者数	506人
1/31	天野周一講演会	文化会館大ホール	入場者数	337人
2/8	ハーモニーinおごおり「声の祭典」	文化会館大ホール	入場者数	1,700人
3/14	満月の人よ	文化会館大ホール	入場者数	337人

【施策額の内訳】

内 訳	金額(千円)
文化協会育成費補助金	500
市民文化祭補助金	1,050
小郡音楽祭補助金	2,100
自主文化事業補助金	4,800
合 計	8,450

【施策の効果】

文化活動を行っている各団体への支援を行う事により、文化の薫り高い地域づくりに貢献できた。

文化会館改修事業(文化会館管理費)

生涯学習課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,254					2,254

【施策の目的】

文化会館の老朽化により、時代に対応した設備更新を年次的に進めることで、安心・安全・快適な文化施設づくりを促進する。

【施策の実施及び施策額の内訳】 (単位:円)

内 訳	金 額
ワイヤレスマイク、ワイヤレスシステム	1,477,440
受付システム	499,500
小ホールカメラ	118,800
椅子、指揮者用譜面台他	157,896
合 計	2,253,636

【施策の効果】

雑音が入ることなくクリアな音響環境が構築できた。インターネットの活用など時代に対応した環境整備につながった。市民のより快適な施設利用に貢献することができた。

ブックスタート事業(図書館管理費)

図書館

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,094					1,094

【施策の目的】

幼児期の早い時期に本(絵本)と出会う機会を提供して、絵本を通じたスキンシップで親子のきずなを深めるとともに、家庭での読書環境づくりを支援していく。

【施策の実施】

- ・ 生後10か月の乳幼児健診時にスタッフが事業説明と読み聞かせの大切さを説明して、ブックスタートパック(布バッグ・小冊子)と記念品(選定絵本2冊・絵本リスト)を手渡す。
- ・ H26年度 10か月健康診査受診者 464組

【施策額の内訳】

ブックスタートパックと記念品代(絵本代) 985千円
ブックスタート説明補助員賃金 109千円

【施策の効果】

- ・乳幼児同伴親子の図書館利用が増えてきている。
- ・本事業が、家庭での絵本の読み聞かせをする“きっかけづくり”になり、家読推進の基礎になっている。
- ・単なる絵本の配付ではなく、絵本の読み聞かせを通して親子のふれあいや家庭教育の大切さを伝えられている。

野田宇太郎文学資料館事業(図書館管理費)

図書館

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,797		350			1,447

【施策の目的】

資料のデータ化と保存処理を完了させ、市民の貴重な財産として活用・公開を目指す。また、常設展示や企画展示を充実させて、野田宇太郎氏の功績を内外にPRしていく。

【施策の実施】

- ・企画展「平成26年度企画展「野田宇太郎が歩いた山口」(展示期間:2月21日(土)～5月10日(日))を開催した。
- ・個性ある地域づくり推進事業費補助金を活用して、野田宇太郎文学資料館の資料の長期保存と公開資料の充実を図るために、資料のマイクロフィルム化を行った。

【施策額の内訳】

展示パネル作成設置及びポスターチラシ印刷委託料 630千円
野田宇太郎文学資料マイクロフィルム化委託料 1,167千円

【施策の効果】

- ・企画展の実施により、野田宇太郎氏の功績を紹介・PRすることができた。
- ・資料のマイクロフィルム化を行ったことにより、保存面はもちろん今後の資料公開により、野田氏の功績を広く内外にPRすることができる。

「子ども読書」の街づくり推進事業

図書館

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,146					1,146

【施策の目的】

子どもに読書の魅力を伝えて、読書意欲を向上させることを目的とし、学校・地域・家庭が一体となって子どもたちの読書活動を支えていくこととする。

【施策の実施】

- ・「子ども読書の日」記念事業として、絵本に出てくるメニューを給食に1品加える「ものがたりレシピ」給食を市内小中学校で実施。併せて、チラシ「ものがたりレシピをいただきます」を配布した。また、立石小学校の1年生～6年生の全クラスで絵本の読み聞かせを行った。
- ・家読推進のためにモデル校(小郡小学校・小郡幼稚園・大崎保育所)を設定し、家庭での読書記録をつける「うちどくダイアリー」を児童・園児に配付した。
- ・家読講演会を全体で3回、モデル校の小郡幼稚園で1回開催した。
- ・読書好きの子どもを増やす「本はともだちプロジェクト」により、小中学校で行った読書活動を外部の専門家等に評価してもらう「いきいき読書活動コンクール」と「本のPOP講座」を開催した。

【施策額の内訳】

講師謝金等 882千円
印刷製本費等 264千円

【施策の効果】

- ・家読講演会にも多数の参加者があり、参加者に「読書の楽しさ」や「読書が子どもの成長によい」ことを分かっていた。
- ・「本のPOP講座」は本に親しむきっかけづくりになっており、さらに読書好きの子どもが増えるよう継続していく。

文化財関係団体育成(文化財保護費)					文化財課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,780					8,780
【施策の目的】					
市内の文化財保護を進めるために、その保護に関わる文化財関係団体に対し、その活動を助成し、育成を目的とするほか、協働事業として行う文化財の管理をNPO法人へ委託を行った。					
【施策の実施】					
各文化財保護団体の文化財保護活動に対して補助金を交付し、市内遺跡の管理委託をNPO法人に対し行い適正・有効な活動の指導・助言及び協働事業を行った。					
【施策の内訳】					
・補助金					
1. 郷土史研究会			541千円		
2. 福童將軍藤保存会			160千円		
3. 高卒都婆保存会			61千円		
4. 名馬池月の塚保存会			38千円		
5. 協議会等負担金			70千円		
合 計			870千円		
・委託料					
NPO法人小郡市の歴史を守る会			7,910千円		
【施策の効果】					
文化財保護団体からは、年間を通して通常の文化財の保護・管理と啓発活動に協力を得られた。					
文化財発掘調査・重要遺跡調査事業					文化財課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
22,379	5,718	6,608		55	9,998
【施策の目的】					
市内の埋蔵文化財を保護するために開発に対する事前審査を行い、重要な遺跡に対しては発掘調査を実施した。					
【施策の実施】					
・ 窓口(電話対応を含む)における開発に対する文化財の指導 年間約500件					
・ 書面による事前審査対応件数 152件					
・ 試掘を行った件数 53件					
・ 重要遺跡確認調査及び報告書作成を行った遺跡 13件					
・ 公共事業に関する緊急な発掘調査を行った件数 2件					
【施策の内訳】					
<7目 文化財発掘調査費>					
・事前審査(試掘調査を含む) 4,344 千円					
・重要遺跡発掘調査 11,465 千円					
内訳					
1) 津古内畑遺跡			4,950 千円		
2) 大板井遺跡28			335 千円		
3) 小郡若山遺跡7			128 千円		
4) 八坂末安遺跡2			268 千円		
5) 小郡前伏遺跡5			6 千円		
6) 小坂井屋敷遺跡6・7			804 千円		
7) 横隈山古墳			1,187 千円		
8) 小郡官衙遺跡			1,248 千円		
9) 乙隈遺跡2			317 千円		
10) 前沢遺跡			501 千円		
11) 大保西小路遺跡4・5			629 千円		
12) 小郡若山遺跡8			929 千円		
13) 花立山古墳群			163 千円		
・下岩田石仏遺跡(県道塔ノ瀬十文字小郡線)発掘調査 4,903 千円					
・三沢宮ノ前遺跡4(県道本郷基山停車場線側道)発掘調査 1,667 千円					

【施策の効果】

近年増加傾向にある個人住宅建設など、開発に先立つ埋蔵文化財調査に迅速に対応した。トイレ設置に先立つ小郡官衙遺跡の確認調査では、今後の史跡整備・活用に利する資料を得ることができた。

文化財発掘受託調査事業

文化財課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
21,446				21,446	

【施策の目的】

民間開発業者が行う開発に際し、事前に文化財発掘調査を実施し、記録保存を行った。

【施策の実施】

- ・ 前年度までに調査を終了し、出土遺物の整理・報告書作成を行った遺跡 4遺跡
- ・ 民間の開発により緊急発掘調査を実施した遺跡 6遺跡(1件は前年度からの継続事業)

【施策の内訳】

<8目 文化財発掘受託調査費>

・小板井屋敷遺跡8	941 千円
・福童町遺跡11	1,685 千円
・小郡前伏遺跡3	1,439 千円
・寺福童遺跡6	3,207 千円
・緊急調査	14,174 千円
内訳	
1)小郡前伏遺跡4	1,077 千円
2)三沢古賀遺跡4	4,394 千円
3)福童町遺跡12	253 千円
4)大保西小路遺跡3	322 千円
5)大板井遺跡29	1,049 千円
6)大保西小路遺跡6	950 千円
文化財保護基金積立金	6,129 千円

【施策の効果】

開発に先立つ埋蔵文化財の事前調査と、記録および出土資料の整理を円滑に行うことができた。

史跡等総合活用支援推進事業

文化財課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
5,919	2,950			18	2,951

【施策の目的】

埋蔵文化財発掘調査によって出土した文化財を適正に保管・管理し、その公開・活用を行うことで生涯学習・学校教育に資することを目的とした。

【施策の実施】

- ・ 体験学習等開催事業
 - ① 体験学習講座 土笛、勾玉、須恵器等を作る講座を計10回実施(参加者208名)
 - ② 考古学講座 県内各地と小郡との関連をテーマに、全3回実施
 - ③ 特別展示会
『官兵衛の時代の小郡～ゆきかう武将たち～』を埋文センター展示室で展示し、記念講演会(参加者74名)を実施した。
 - ④ シンポジウム
国指定史跡小郡官衙遺跡群上岩田遺跡の調査成果の報告と今後の活用方法を検討する目的で、『上岩田遺跡シンポジウム～今よみがえる古代・評衙と仏堂から～』(参加者103名)を開催した。
- ・ 広報資料作成事業
 - ① 市内文化財紹介パンフレット(低学年用)及び上岩田遺跡リーフレットを作成した。
- ・ 台帳作成等事業
 - ① 出土資料データ整理
国指定史跡小郡官衙遺跡群上岩田遺跡出土資料の台帳化及びデータ化に着手した。なお、整理終了後にはホームページで公開した。

【施策の内訳】

施策総額	5,919千円	(補助率は雇用保険の個人負担分を除き国庫1/2)
体験学習等開催事業	1,151千円	
広報資料作成事業	997千円	
台帳作成等事業	3,771千円	

【施策の効果】

体験学習等開催事業では、シンポジウムの開催により、参加者が増加し、市民の郷土に対する関心が高まった。広報資料作成は、今後の文化財保護に結びつくことが期待される。台帳作成では、基本的な資料化を進め外部機関や市民の見学・利用への対応がスムーズになった。

小都市内文化遺産再発見事業

文化財課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,879				3,411	468

【施策の目的】

立石校区のさまざまな文化遺産の悉皆調査を実施し、その成果をまとめた報告書とリーフレットの作成を行った。

【施策の実施】

- ・立石校区に残る文化遺産の悉皆調査
- ・校区公民館との協力による調査成果を利用した文化遺産巡りハイキングの開催
- ・調査成果をまとめた報告書の作成及び配布用のリーフレット作成

【施策の内訳】

施策総額	3,879千円	(うち、文化庁補助事業を活用「文化遺産を活かした地域活性化事業」 3,397千円)
事業費の内訳	金額	
・保険料	482千円	
・賃金(整理作業員)	2,910千円	
・消耗品費(ケント紙・チューブファイルなど)	121千円	
・印刷製本費(リーフレット印刷など)	366千円	

【施策の効果】

悉皆調査を通して、従来見過ごされてきた地域の文化遺産を発見できた。それらは地域住民の地域への愛着を高め、地域活性化の資源としての活用が可能となった。

伝承等文化資源調査活用事業

文化財課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,411				3,692	719

【施策の目的】

本市の伝承や方言などについての聞き取り調査を進めていくことを中心に、調査・記録・保存・整備を継続的にを行い、その特長を活かした地域活性化につなげていくことを目的とした。

【施策の実施】

伝承についての聞き取りを中心に、民具や石造物の調査・記録、民俗学講座・講演会・体験学習の開催、さらにはここ3年間に聞き取った伝承を、方言などそのままに記録・保存することを目的とした調査報告書を作成・配布した。

【施策の内訳】

総額	4,411千円	(うち、文化庁補助事業を活用「文化遺産を活かした地域活性化事業」3,680千円)
事業費の内訳	金額	
・賃金(整理作業員)	3,020千円	
・保険料	45千円	
・報償費	82千円	
・消耗品費(インクジェット・紙類など)	176千円	
・印刷製本費(報告書印刷・製作)	464千円	
・その他(公用車・事務所賃貸料、電話料 他)	624千円	

【施策の効果】

市内に残る伝承が文化資源として再認識され、市民の認識や関心が高まった。さらに、調査協力者の中心である高齢者が聞き取りによる自己回想によって、はりあいのある生活につながる言動が見られ、高齢者ケアの分野で新たな可能性が認められた。

市内古建築整備事業【地活債・単独】					文化財課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
70,070			62,700		7,370
【施策の目的】 指定有形文化財油屋の一部である中油屋を江戸時代建築当初の姿に復原した。また管理を行いやすくするため、私有地であった油屋建物の土地を公有化した。					
【施策の実施】 平成24年度に解体・調査、平成25・26年度に復原を行った。建物の歴史的価値を損なわないために、設計監理は専門的知識を有する法人に業務委託し、解体、復原も資格を有す企業に業務委託して実施した。					
【施策の内訳】 市内古建築整備事業総額 70,070千円(地域活性化事業債対象分は、69,714千円) 内訳					
	中油屋解体復原設計監理委託料		8,594	千円	
	中油屋解体復原業務委託料		43,000	千円	
	用地買収費		18,120	千円	
	不動産鑑定業務委託料		189	千円	
	労災保険料		1	千円	
	発掘調査賃金		73	千円	
	機械借上料		75	千円	
	消耗品費		17	千円	
	手数料		1	千円	
	合計		70,070	千円	
【施策の効果】 中油屋の復原建物を安全に活用できるようになった。また、油屋用地の公有化によって、平成27年度から開始予定の油屋復原を支障なく取り組むことができるようになった。					
小郡官衙遺跡群施設等整備事業【地活債・単独】					文化財課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
14,908			12,700		2,208
【施策の目的】 平成24年度の整備基本計画に基づきトイレを建設し、危険なコンクリート側溝の修繕を行った。					
【施策の実施】 トイレ設置は平成25年度に設計、平成26年度に工事を実施した。					
【施策の内訳】 小郡官衙施設等整備事業総額14,908千円(地域活性化事業債対象分14,130千円) 内訳					
	トイレ工事請負費		14,130	千円	
	側溝修繕料		759	千円	
	役務費		19	千円	
	合計		14,908	千円	
【施策の効果】 小郡官衙遺跡公園に便益施設であるトイレの建設を行うことで、史跡地でのイベント開催ができるようになり、史跡としてより多くの人の利用が可能となった。					
市内歴史遺産活用事業【緊急雇用創出事業】					文化財課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
11,308		10,847			461
【施策の目的】 江戸時代に市内を南北に通過していた旧薩摩街道沿いの文化遺産(街道遺産)を調査研究し、そのモニターツアーを実施して、見学などに適した7か所の街道遺産を選定し、その活用報告書を作成した。					

【施策の実施】

市の文化財保護・観光資源としての活用を図るため、市内文化財管理の経験や蓄積のある特定非営利活動法人「小郡の歴史を守る会」に業務委託した。

【施策の内訳】

市内歴史遺産活用事業委託料 11,308千円(うち福岡県緊急雇用創出事業対象分10,847千円)

【施策の効果】

薩摩街道沿いに残る文化遺産を総合的に調査して、報告書をまとめたことにより、旧薩摩街道の文化遺産の有効な活用が図れる環境を作った。

古建築技術者人材育成事業(福岡県緊急雇用創出事業)

文化財課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,552		1,552			

【施策の目的】

今後需要の見込まれる古建築の修復・復原・活用などの施工・設計・監理が一体的にできる技術者を育成するために、緊急雇用創出事業の地域づくり事業を活用して、設計会社にその研修と育成を委託した。

【施策の実施】

- ・古建築技術者人材育成を行うことのできる設計会社に事業を委託する。
- ・受託した事業者は、古建築技術者を採用・雇用して市内古建築の保存と活用を行う。

【施策の内訳】

- ・委託料 1,552 千円

【施策の効果】

古建築は、地域の歴史的文化的価値を、後世に伝えるだけでなく、観光の核になるものとして注目されている。そうした古建築の価値を失わずに復原する技術者を市で養成することは、今後の古建築の保存と活用に道を開くものである。

10款 教育費 7項 保健体育費

(単位:千円)

スポーツ推進基本計画策定事業		スポーツ振興課				
総 額	財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
4,685					4,685	

【施策の目的】

スポーツ基本法に基づき、スポーツ推進基本計画を策定することにより、本市の今後のスポーツ推進に係る施策の方向性を示すことを目的とする。

【施策の実施】

- ・小郡市スポーツ推進基本計画策定委員会
策定委員:16名
開催日 第1回:6月13日(金)
第2回:8月29日(金)
第3回:12月18日(木)
第4回:1月23日(金)
第5回:2月5日(木)
- ・市民アンケート調査
対象:市民2000人およびスポーツ施設利用者
調査期間:9月25日～10月15日
- ・小・中学生アンケート調査
対象:市内小学5年生620人、中学2年生670人
調査期間:10月1日～10月9日
- ・公共スポーツ施設の現況調査
- ・団体ヒアリング調査
対象:市体育協会加盟17団体
調査日:10月26日、11月1日

【施策額の内訳】

・スポーツ推進基本計画策定委員報酬	205千円
・費用弁償	15千円
・消耗品費	2千円
・印刷製本費	35千円
・通信運搬費	216千円
・スポーツ推進基本計画策定委託料	4,212千円

【施策の効果】

今後のスポーツ推進に係る市の施策の方向性を明確にすることができた。

スポーツ振興事業費補助金

スポーツ振興課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,150				120	3,030

【施策の目的】

各種団体等のスポーツ活動に助成を行うことで、体力向上や団体育成を図ることを目的とする。

【施策額の内訳】

(1) 体育協会補助金	1,900千円
(2) 全国・西日本・九州大会出場補助金	335千円
(3) スポーツ振興委員会運営等補助金	420千円
(4) プール利用補助金	金額495千円 (鳥栖利用者負担額272千円)
久留米市民流水プール、鳥栖市民プール利用補助	利用者数2,761名
	(内訳: 久留米市1,121名・鳥栖市1,640名)

【施策の効果】

各スポーツ団体の育成並びに全国大会等へ出場する際の負担軽減に繋がった。また、水難事故防止と体力向上が図られた。

スポーツ行事開催事業

スポーツ振興課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,442					4,442

【施策の目的】

スポーツは、爽快感・達成感・連帯感や楽しさ、喜びをもたらす、また、体力の向上、精神的なストレス発散、生活習慣病の予防など、心身の両面にわたる健康の保持増進に資するものであり、この事業の推進により、医療費の節減効果、青少年の健全育成、地域の連帯感の醸成、更には、市民生活をより豊かに明るく活気に満ちた地域社会の形成へと導く。

【施策の実施事業】

- (1) 第46回公民館対抗バレーボール大会
4月13日(日) 市体育館・大原中学校体育館 参加者数 228人
- (2) 第21回ジュニアスポーツフェスティバル
4月27日(日) 市野球場他 参加者数 741人
- (3) 第37回フェスティバル小郡市民スポーツ大会
テニス、ソフトテニス、ママさんバレーボール、バドミントン、卓球、グラウンドゴルフ、ソフトボール
5月11日(日)～10月19日(日) 市体育館他 参加者数 1,471人
- (4) 第13回スポーツ・レクリエーション大会
ソフトバレーボール、ラージボール卓球、室内ペタンク、スポンジテニス、ターゲットバードゴルフ
9月13日(土)、14日(日) 市体育館・七夕広場 参加者数 179人
- (5) 第20回市民ふれあい運動会
10月12日(日) 多目的広場 台風接近のため中止
- (6) 第60回成人祭祝賀駅伝大会
1月11日(日) 小郡運動公園及び市内 参加者数 641人

(7) 小郡運動公園体育事業実行委員会実施事業(3者主催)

6月28日(土)	2014ウエスタン・リーグ公式戦(福岡ソフトバンクホークスVS阪神タイガース)	市野球場 観客動員数 3,629人
7月26日(日)	ライジング福岡によるバスケットボールクリニック	市体育館 5チーム(67人)
11月9日(日)	グリーンパークみんなであそぼう! 2014inおごおり	市野球場 親子21組(48人)
12月20日(土)	福岡ソフトバンクホークスによる野球教室	市野球場 14チーム(114人)
12月23日(祝)	福岡ソフトバンクホークス帆足和幸選手によるふれあい教室	市野球場 14チーム(139人)
3月15日(日)	2015サガン鳥栖サッカー教室inおごおり	市陸上競技場 7チーム(76人)

【施策額の内訳】

○報償費	1,444千円
○需要費	630千円
○委託料	15千円
○負担金、補助金及び交付金	2,353千円

【施策の効果】

市民の体力の向上、精神的なストレス発散、生活習慣病の予防など、心身の両面にわたる健康の保持増進を図ることができた。また、スポーツ活動への参加を通じて、青少年の健全育成および地域の連帯感の醸成に繋がった。

クロスロードスポーツレクリエーション運営費

スポーツ振興課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
609					609

【施策の目的】

久留米・鳥栖・基山・小郡の住民がスポーツを通して交流を図り、また、市民の健康増進と体力向上を図ることを目的とする。

【施策の実施事業】

第24回クロスロード・スポーツレクリエーション祭
11月9日(日) 基山町総合体育館他
小郡市参加者数 109人 他市町参加者数 386人

【施策の効果】

ラージボール卓球、ソフトバレーボール、室内ペタンク、スポンジテニス、ターゲットバードゴルフの5種目のスポーツを楽しみ、4市町の交流を図ることができた。また、今回もオープン競技として、アジャタの競技普及を図るとともに、健康増進と体力向上に寄与することができた。

小郡市体育館バスケットゴール改修工事

スポーツ振興課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,305					2,305

【施策の目的】

市体育館バスケットゴールが老朽化しており、可動式バスケットゴールの設置工事を行うことにより、施設の安全性確保及び利用者の利便性向上を目的とする。

【施策の実施】

バスケットゴール改修工事 2,305千円
・可動式バスケットゴール2基

【施策の効果】

老朽化したバスケットゴールの更新により利用者の安全性が確保され、かつ、上下可動式ゴールのため児童生徒も利用でき利便性が向上した。

乗用芝刈り機購入事業

スポーツ振興課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,862					2,862

【施策の目的】

陸上競技場、野球場で使用している乗用芝刈り機が、20年以上経過し老朽化により使用が困難になっているため、新たな芝刈り機を購入することを目的とする。

【施策の実施】

乗用芝刈り機購入 2,862千円

【施策の効果】

新たな芝刈り機の購入により、計画通りの作業を行うことができ、かつ、作業効率の向上が図られた。

小郡市陸上競技場2種公認改修事業

スポーツ振興課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
169,405				80,094	89,311

【施策の目的】

陸上競技場開場後、20年が経過しトラックのウレタン舗装が老朽化しているため、全面改修工事を実施することにより、利用者の安全確保を図るとともに、必要備品等を購入し、2種公認の継続を得ることを目的とする。

【施策の実施】

- ◆小郡市陸上競技場改修工事 161,454千円
 - ・工 期 平成26年6月23日から平成27年3月6日まで
 - ・工事概要 ウレタン切削・舗装 A=7,800㎡
コースライン改修 L=4,810m
付帯設備改修及び新設
(巾跳び・三段跳び用砂場等)
- ◆小郡市陸上競技場設計監理業務委託料 2,592千円
- ◆小郡市陸上競技場備品購入 4,981千円
 - ・主な購入備品 デジタル風速計 4台
超音波風速計 1台
砲丸・やり等
- ◆手数料及び負担金 378千円
 - ・2種公認検定に係る手数料及び検定員派遣費用負担金

【施策の効果】

小郡市陸上競技場の2種公認を継続することが出来た。また、トラックのウレタン舗装の全面改修により利用者の安全が確保された。

学校給食配給事業(学校給食センター管理費)

学校給食課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
64,873					64,873

【施策の目的】

生涯を通じて健康に過ごすための食生活について理解を深め、成長期にある児童生徒の健康の保持増進と体位の向上のため、栄養のバランスがとれた食事を提供する。また、郷土料理や地場産野菜を使用するなどの工夫を図り、「安全・安心」で美味しい学校給食の提供に努める。

【施策の実施】

- ・市立小学校5校(児童数3,134名)、中学校5校(生徒数2,016名)の総数5,150名に対し、年間給食日数小学校189日、中学校191日、総給食数(職員含む)103万食の配給を行った。
- ・安全で衛生的な給食を適時配給するため日本通運を始めとする11業者に委託し事故なく完了する。

【施策額の内訳】

・当該年度においては、小学校調理室屋根の改修及び食品衛生に適し異物混入防止に対応した調理器具などの購入を行なった。

賃 金	臨時調理員	13,945 千円
委託料	施設保守及び給食運搬等	15,950 千円
需用費	衛生消毒用品、電気、ガス、水道代他、調理器具等修繕	27,188 千円
	調理室屋根改修工事	4,622 千円
備品購入費	配食用食缶、調理器具等の購入	1,692 千円
役務費	食品検査料及び検便検査料及び通信費等	891 千円
共済費	臨時職員労災保険料	58 千円
その他	負担金、補助金等	527 千円
	合 計	64,873 千円

【施策の効果】

平成26年度においては、食中毒の防止含め衛生管理を厳守し事故等起こさず「安全・安心」な学校給食の配食ができた。また、地元野菜を使用する取組みを充実させ、学校、地域、家庭と連携を図り、給食を通じて、食育の啓発及び促進事業を実施した。

小郡小学校給食施設整備事業

学校給食課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
5,662					5,662

【施策の目的】

・小郡小学校給食施設建設の為の設計を行い自校式給食施設の着工を進め、「安心・安全」でおいしい給食の提供に努める。

【施策の実施】

・年間10回程度の打ち合わせ及び現場確認

【施策額の内訳】

手数料	手数料	90 千円
委託料	設計委託料	5,572 千円
合 計		5,662 千円

【施策の効果】

平成26年度においては、既存3校の自校式給食施設を基準に衛生管理の行き届いた「安全・安心」な学校給食を提供できる給食調理施設の設計ができた。

学校給食配給事業(味坂小学校給食施設管理費)

学校給食課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,326					1,326

【施策の目的】

生涯を通じて健康に過ごすための食生活について理解を深め、成長期にある児童生徒の健康の保持増進と体位の向上のため、栄養のバランスがとれた食事を提供する。また、郷土料理や地場産野菜を使用するなどの工夫を図り、「安全・安心」で美味しい学校給食の提供に努める。

【施策の実施】

・味坂小学校の児童146名に対し、年間給食日数189日、総給食数約3.1万食の配給を行った。
 ・安全で衛生的な給食を適時配給するため、殺鼠害虫駆除委託など、事故なく完了する。

【施策額の内訳】

需用費	衛生消毒用品、電気、ガス、水道代、修繕料他消	1,235 千円
委託料	殺鼠害虫駆除委託	15 千円
その他	手数料(細菌検査)負担金等	76 千円
合 計		1,326 千円

【施策の効果】

26年度においては、食中毒の防止含め衛生管理を厳守し事故などを起こさず「安全・安心」な学校給食の提供ができた。また、「宝満の市」との連携によって、地産地消の促進も軌道に乗り、自校方式の利点を生かした給食の提供を行った。

学校給食配給事業(立石小学校給食施設管理費)

学校給食課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,589					2,589

【施策の目的】

生涯を通じて健康に過ごすための食生活について理解を深め、成長期にある児童生徒の健康の保持増進と体位の向上のため、栄養のバランスがとれた食事を提供する。また、郷土料理や地場産野菜を使用するなどの工夫を図り、「安全・安心」で美味しい学校給食の提供に努める。

【施策の実施】

・立石小学校の児童167名に対し、年間給食日数189日、総給食数3.5万食の配給を行った。
 ・安全で衛生的な給食を適時配給するため、殺鼠害虫駆除委託など、事故なく完了する。

【施策額の内訳】

需用費	衛生消毒用品、電気、ガス、水道代、修繕料他消	1,463 千円
賃 金	臨時調理員	1,049 千円
委託料	殺鼠害虫駆除委託	15 千円
その他	手数料(細菌検査)	62 千円
合 計		2,589 千円

【施策の効果】

26年度においては、食中毒の防止含め衛生管理を厳守し事故などを起こさず、「安全・安心」な学校給食の提供ができた。また、地元農産物生産団体「アグリ」「宝満の市」との連携によって、地産地消の促進も軌道に乗り、自校方式の利点を生かした給食の提供を行った。

学校給食配給事業(御原小学校給食施設管理費)

学校給食課

総 額	財 源 内 訳			
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
2,202				2,202

【施策の目的】

生涯を通じて健康に過ごすための食生活について理解を深め、成長期にある児童生徒の健康の保持増進と体位の向上のため、栄養のバランスがとれた食事を提供する。また、郷土料理や地場産野菜を使用するなどの工夫を図り、「安全・安心」で美味しい学校給食の提供に努める。

【施策の実施】

- ・御原小学校の児童122名に対し、年間給食日数189日、総給食数(職員含む)2.6万食の配給を行った。
- ・安全で衛生的な給食を適時配給するため、殺鼠害虫駆除委託など、事故なく完了する。

【施策額の内訳】

需用費	衛生消毒用品、電気、ガス、上水道、下水道代、 修繕料他消耗品	2,141 千円
委託料	殺鼠害虫駆除委託	15 千円
その他	手数料(細菌検査)負担金等	46 千円
	合 計	2,202 千円

【施策の効果】

26年度においては、食中毒の防止含め衛生管理を厳守し事故などを起こさず、「安全・安心」な学校給食の提供ができた。また、「宝満の市」との連携によって、地産地消の促進も軌道に乗り、自校方式の利点を生かした給食の提供を行った。